

政策に直接声を届けられる

パプ・コメ



に参加しよう！



今しかできない
おすすめアクション！

国の重要な気候・
エネルギー政策に
意見を送ろう！

開始までしばらくお待ちください

本日の流れ

20:00-20:10 イン트로・趣旨説明(前半参加だけでもOK)

20:10-20:25 気候変動/パブコメについてミニ講座

20:25-20:40 実際に書いて送ってみよう！(作業時間)

20:40-20:50 まとめ・振り返り・今後のお知らせなど

ご参加にあたって:

- 表示名が「iPhone」などとなっている方は、可能な範囲で、お名前または呼ばれたい名前の表示変更にご協力ください。
- 耳だけ参加の場合は、「耳」とお入れください。
- 発言をされない時は、ミュート(マイクオフ)のご協力をお願いいたします。
- お互いに安心し、参加しやすい場づくりのご協力をお願いいたします。
 - 暴言・誹謗中傷・差別等、不適切な発言は行わない(気になったことがあれば、スタッフまでお知らせください)
 - 発言/チャットの際は、主語に注意するとともに、決めつけない
 - 事実と意見を区別する

グリーンピース・ジャパンについて

“未来を考え、今日動く” ～地球の恵みを、100年先の子どもたちに届けるために～

環境保護と平和を実現するための、社会システムの変革をめざし行動する、
「国際環境NGOグリーンピース」の日本支部です。

世界に広がるグリーンピース

日本を含む世界55以上の国と地域
を拠点に活動を展開しています。



- ✓ 世界55以上の国・地域に拠点
- ✓ 世界300万人以上のサポーター
- ✓ 政府や企業から独立 個人からのご寄付のみ



ご支援いただいている皆様、いつもありがとうございます。

ワタシのミライについて

“もう、地球を人まかせにしない。”

～再エネ100%と公正な社会をめざす「ワタシのミライ」～



© Daiki Tateyama

脱炭素社会への公正な移行を急ぎ、

2050年までに
自然エネルギー100%で
豊かに暮らせる社会を創る。

「ワタシのミライ」は
市民がつながり変化を広げていく、
新しいムーブメントです。

時間がない人のために
～5分でパパッと書いてみよう～

大事な心がまえ その①:専門知識がなくても送ってOK

まずはしっかり勉強して、
よく知ってから書かないと
いけないよね・・・？
難しそう・・・

ちょっと待って！

もちろん勉強できた
らより良いですが、
まずは書いて届ける
ことが大事です。

なぜパブコメを
送ろうと思ったのか、
あなたの「思い」
やエピソードなどを
送ってみるのもOKです。



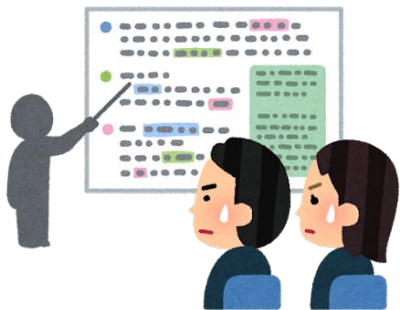
大事な心がまえ その②:1意見1通でわかりやすく・数を多く

大事なポイントが
いっぱいあるぞ…！
全部まとめて1通送ろう。

ちょっと待って！

まずは今日の話で3通
ほど送ることを目指し
てみましょう。
1人あたり
何通送ってもOKです

後半にクイズとポイント
解説がありますが、
全部をまとめて書かず、
原則1つの意見で
1通ずつ送りましょう。



まっさきに送れる3通（一部解説は後半で）

1

あなたの思い
不安な気持ち

感想で終わらず
意見の形に

+

だから、暮らしや
未来をしっかり
守れる目標や政策
をお願いします

2

実際にある影響、
見聞きした
エピソード、体験
+

だから、暮らしや
未来をしっかり
守れる目標や政策
をお願いします

3

後で解説
します

2035年の
温室効果ガス削減
目標案「60%」
では足りません。

「1.5度の約束」を
守るためには、
最低でも66%以上
が必要です。

パブコメを送るステップ

1. 右のQRを読み込む
PCの方は「地球温暖化対策 パブリックコメント」などと検索
2. PDFなどの資料は全てクリックして開封
3. チェックを入れて、進んで、意見を入力
4. 意見のみでもOK！できる範囲で住んでる地域
(例:東京都港区)など情報を入れておこう。
団体・グループとして送る方はその名称等も
※「人」がちゃんと背後にいることが伝わりやすい
5. 「控え」は念の為ダウンロードしておこう

このQRは温暖化対策実行計画へのパブコメ。本当は他にもありますが、後で紹介します。



画面をお見せします

できる方は・・・ SNSなどで送ったことを発信！



「パブコメ送ったよ」と
他の人にも伝えてみよう

- 出したい気持ちがある他の人の励みに
- うっかり忘れてた人のリマインドに

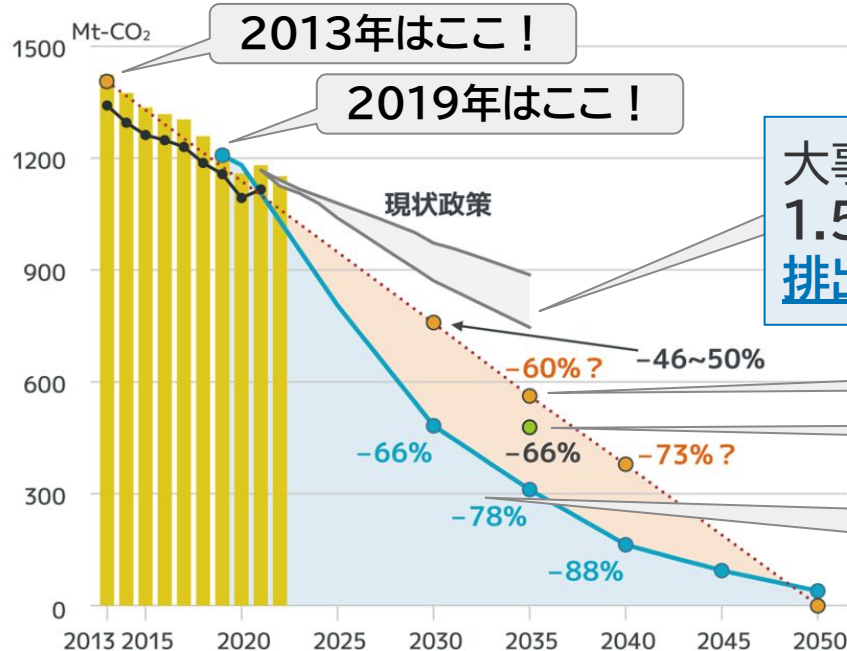
≡二解説：温室効果ガス削減目標について

ぜひ、伝えたいこと

政府が示している2035年の
温室効果ガス削減目標案は「60%」
だけど、それでは足りません。
「1.5度の約束」を守るためには、
最低でも**66%以上**が必要です。
(本当はもっと必要)

日本の温室効果ガス総排出量とネットゼロへの道筋 (基準年2013年)

まず、現状政策では
2030年の目標達成も
厳しい状況あり...



大事なポイント：
1.5度を守るためには、私たちが残り
排出できるCO2の量には限りがある。

■ 実績データ ● 実績データ(吸収源含む)
● 政府削減目標案(吸収源含む) ● IPCC世界目標 ● 1.5°C日本シナリオ(CAT)

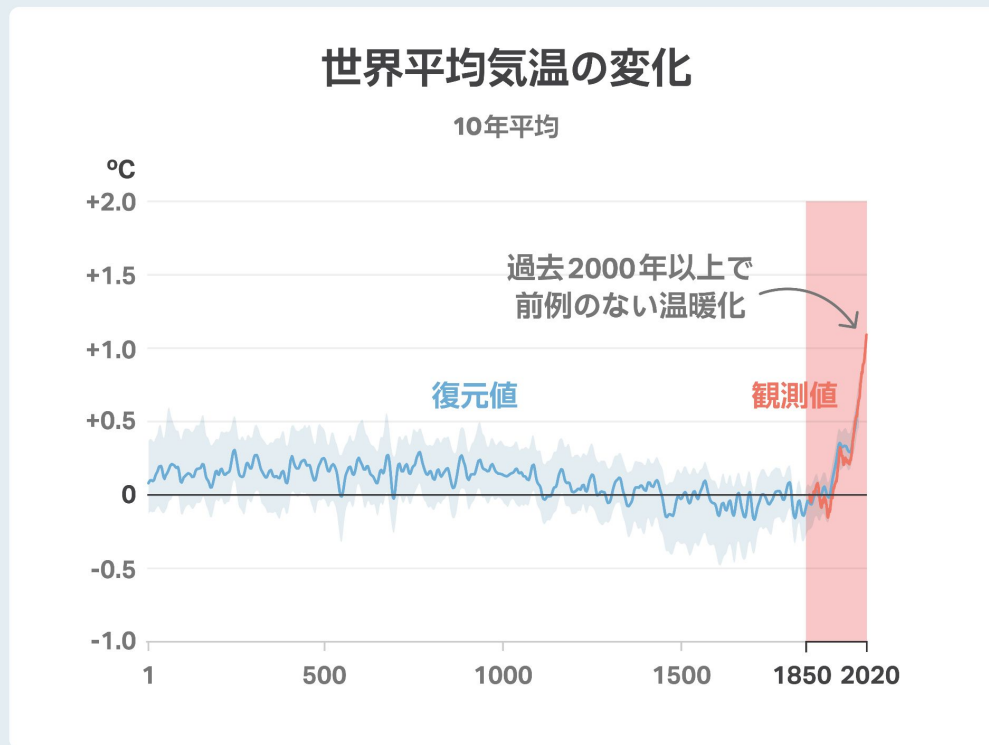
・温室効果ガスインベントリデータ、データは吸収源除く

・出典：IPCC第6次報告書、Climate Action Tracker (CAT) よりClimate Integrate作成



過去2000年以上で前例のない 温暖化が起こっている

fig.1

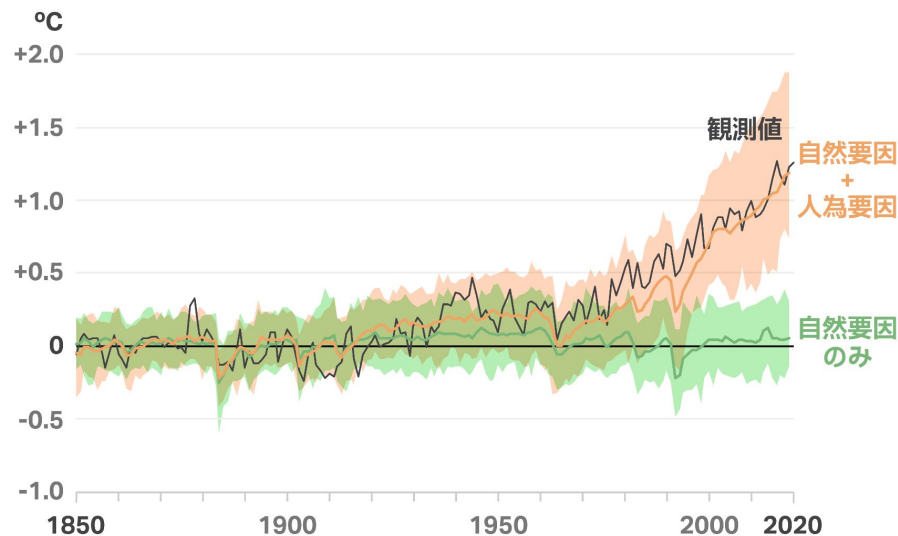


温暖化は自然要因と人間活動要因の 組み合わせで起こっている

fig.2

気温上昇の要因

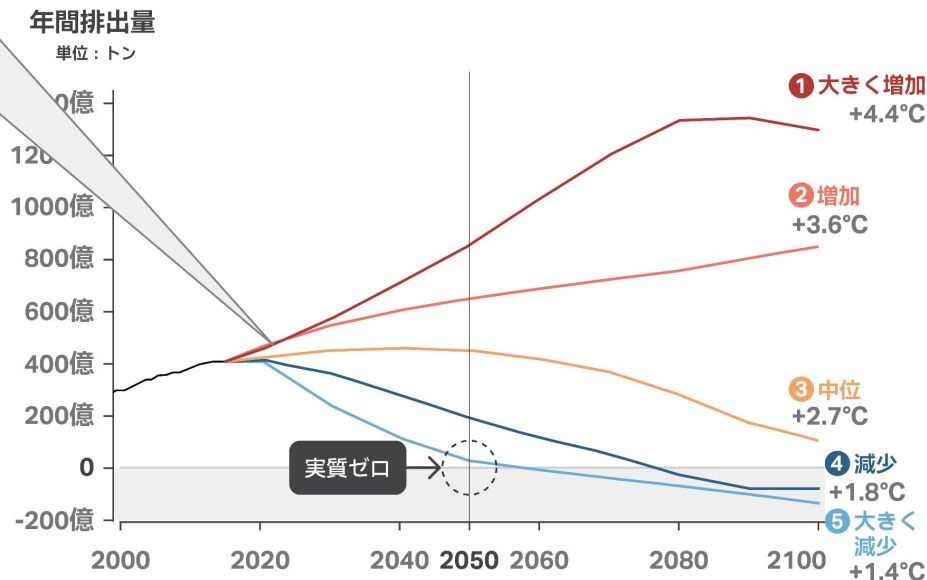
1850年～2020年(年平均)



1.5°Cの温暖化に抑えるには 2050ネットゼロが必要

1.5度目標、そして
2050ネットゼロ
を目指すならば、
初めにぐんと
減らしないと、
「予算オーバー」
になるということ。

CO₂排出シナリオと気温上昇



意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字

意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字
- 日本政府も合意している国際的な目標として、地球の平均気温上昇を“1.5度”より低く抑えよう、というものがある

意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字
- 日本政府も合意している国際的な目標として、地球の平均気温上昇を“1.5度”より低く抑えよう、というものがある
- この1.5度の目標と整合するには、「世界全体で2019年比60%削減」が必要

意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字
- 日本政府も合意している国際的な目標として、地球の平均気温上昇を“1.5度”より低く抑えよう、というものがある
- この1.5度の目標と整合するには、「世界全体で2019年比60%削減」が必要
- 日本の60%は、2019年比で約50%減にとどまる

意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

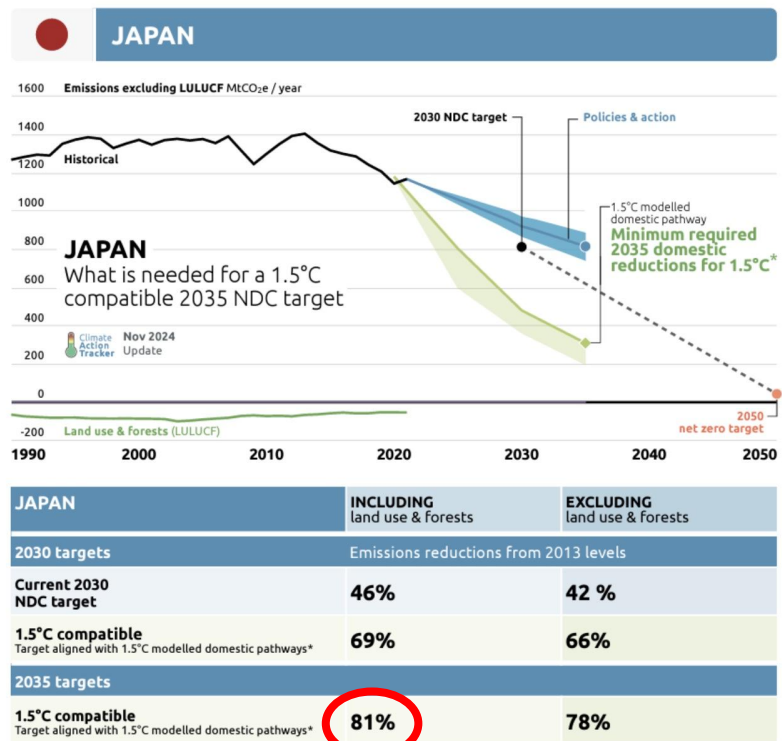
- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字
- 日本政府も合意している国際的な目標として、地球の平均気温上昇を“1.5度”より低く抑えよう、というものがある
- この1.5度の目標と整合するには、「世界全体で2019年比60%削減」が必要
- 日本の60%は、2019年比で約50%減にとどまる
- 世界全体での「最低限守ろう」という平均ライン以下、ということに

意見例: 2035年の温室効果ガス削減目標は66%以上を！

- 政府が示す2035年の温室効果ガス削減目標案は、60%
 - これは「2013年度」の排出量と比べた数字
- 日本政府も合意している国際的な目標として、地球の平均気温上昇を“1.5度”より低く抑えよう、というものがある
- この1.5度の目標と整合するには、「世界全体で2019年比60%削減」が必要
- 日本の60%は、2019年比で約50%減にとどまる
- 世界全体での「最低限守ろう」という平均ライン以下、ということに
- 2013年度比で換算すると、2035年までに最低でも「66%減」が必要

実は、「66%」も十分とは言えない

- 世界で5番目のCO2排出国
- これまでの歴史的な排出量なども踏まえた本来の責任や、
- これから削減できる技術力や経済力などのキャパシティを踏まえると…
- 科学者・研究機関が示す日本の2035年の削減目標は、81%!



(出典: [1.5-aligned 2035 targets for major emitters and Troika countries](#))

パブコメとは？

- 国や自治体が、政令や省令などを定める際に、あらかじめその案を公表し、広く市民から意見・情報を募集する手続きのこと
- **市民が意思表示できる貴重な権利・機会**(この権利は”当たり前”じゃない)
- 不要だとみなされたら、今後このような機会が減ってしまう可能性もゼロではない
- 送ったからといって、必ずしも反映される訳ではない
- でも、出せば必ず読まれる
- **取り入れないもの→基本的にその理由が公表される**
- メディアがパブコメを分析し、どんな意見が多く届いているのかを調べる可能性がある
- 審議会の委員が取り上げる可能性もある

もっと詳しく解説
(クイズ有り！)

その前に:

1/16『緊急開催！こんな結論でいいの？気候危機と日本の責任』より
鳥居啓宣さん(有限会社ジョイファーム小田原)のメッセージ(抜粋)

48年前、田んぼには、カエルがいた。ヘビがいた。
中学高校の頃、自分は自然に興味はなかった。
高校・専門学校卒業して、農業やろうかなと思ったら、

今までいたカエルがいない。イボガエルがいない。

その後に、トノサマガエルもいなくなった。小田原で今いるのは、生き残ったアオガエル。
それもかなり減ってきている。
なぜ減ってるか、専門家じゃないからわからないけれど。

今までにいないものも現れる。でっかいアオガエルが出たりもする。

環境と異常気象、誰が最初に気づくのは、人間じゃない。
本来そこにいた生き物が、いなくなる。
人間が人間を滅ぼす方向に行ってることを、教えてくれているのではないか。

(続き)

1/16『緊急開催！こんな結論でいいの？気候危機と日本の責任』より
鳥居啓宣さん(有限会社ジョイファーム小田原)のメッセージ(抜粋)

この3年間はもっと異常だった。

普通は、夏は、作業していると蚊に苦勞する。

去年は蚊がいない。

溜水がお湯になるから。

お米や野菜もとれなくなっている。

機械を入れたりして工夫してお金がかかり、もとが取れない、
だから、農家を辞めていく。

ともおっしゃっていました。

クイズで学ぶ！ 気候変動とエネルギー政策

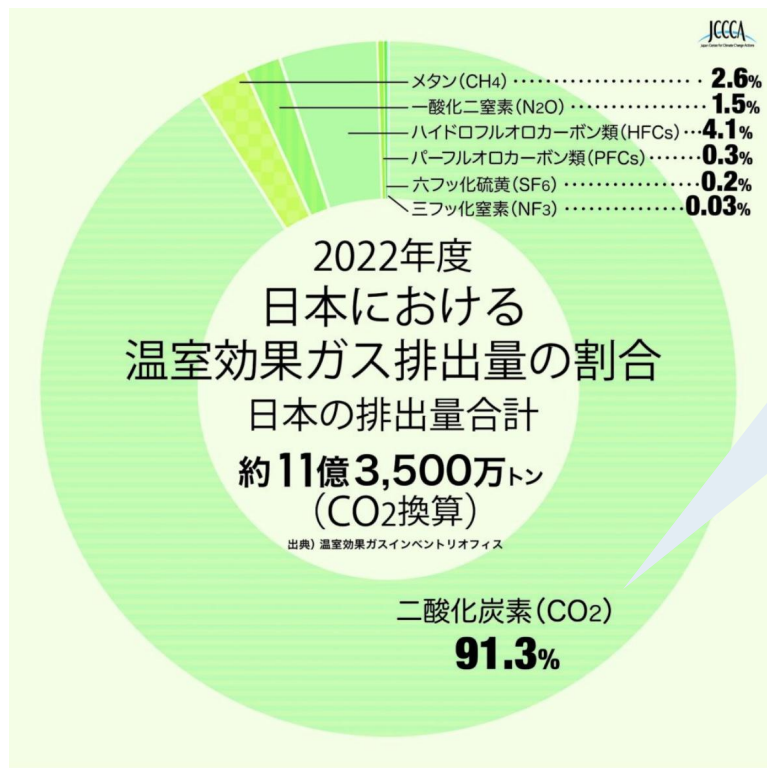
Q1:気候変動の原因である温室効果ガス。
日本の温室効果ガスのうち、
CO2が占める割合はどのくらい？

① 約5割

② 約7割

③ 約9割

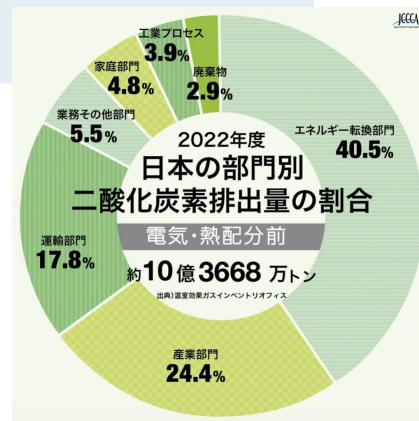
A1: ③約9割



CO₂を排出する原因は
石炭・石油・天然ガスなどの
化石燃料を燃やすこと

このうち、精油や発電など
エネルギー転換部門での排出が
4割

(出典: 地球温暖化防止活動センター)



Q2:日本の発電(2022年)のうち、
火力発電が占める割合はどのくらい？

① 約3割

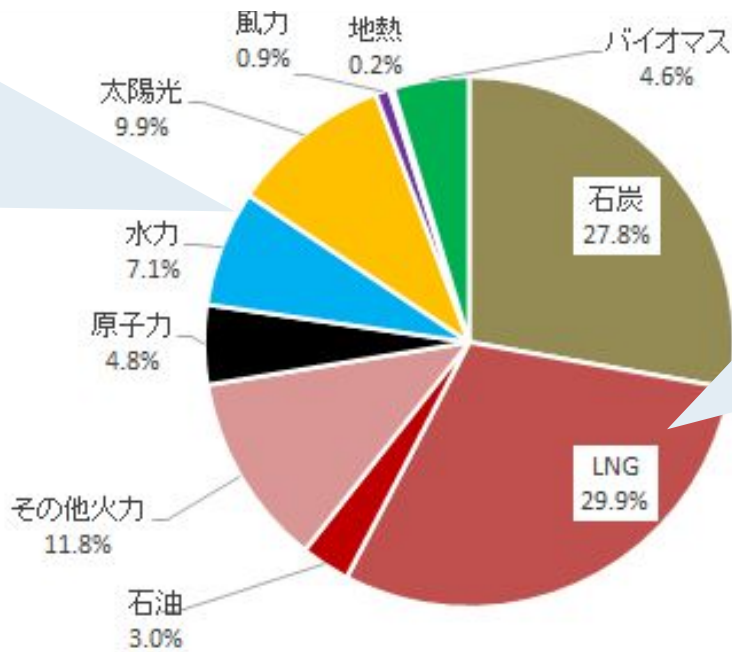
② 約5割

③ 約7割

A2: ③約7割

再エネ 22.7%

- 太陽光 9.9%
- LNG 7.1%
- バイオマス 4.6%
- 風力 0.9%
- 地熱 0.2%



火力 72.5%

- 石炭 27.8%
- LNG 29.9%
- 石油 3.0%
- その他 11.8%

(出典:環境エネルギー政策研究所)

Q3:2040年の電源構成を決める
「第7次エネルギー基本計画」の原案では、
再エネ割合はどのくらい？

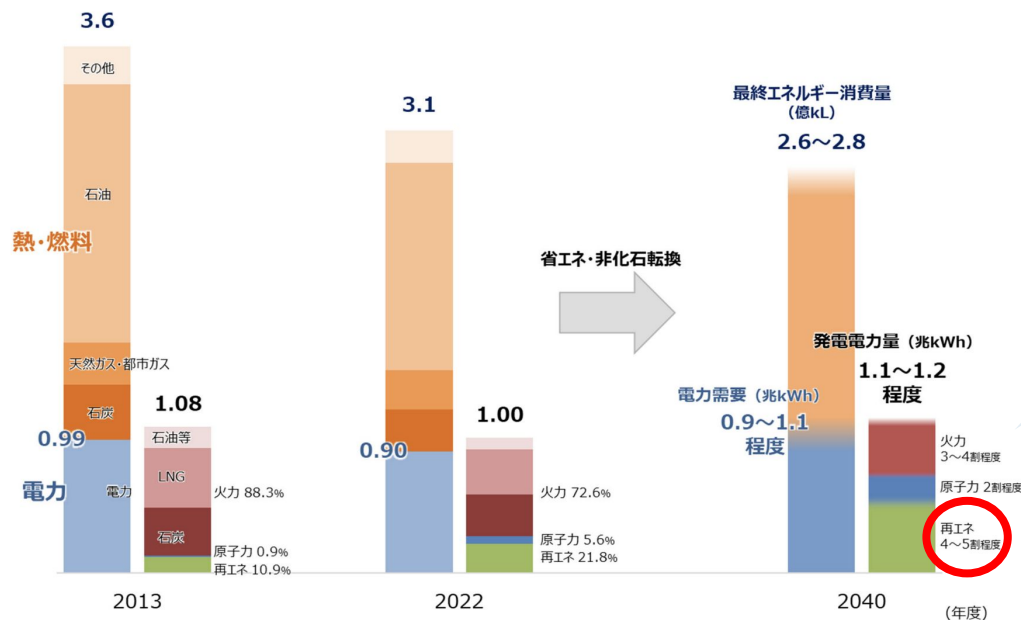
① 4～5割

② 6～7割

③ 8～9割

A3: ①4～5割

【参考】エネルギー需給の見通し（イメージ） ※数値は暫定値であり、今後変動し得る。



2040年にも火力を
3～4割使用する見通し

原子力も2割程度使用

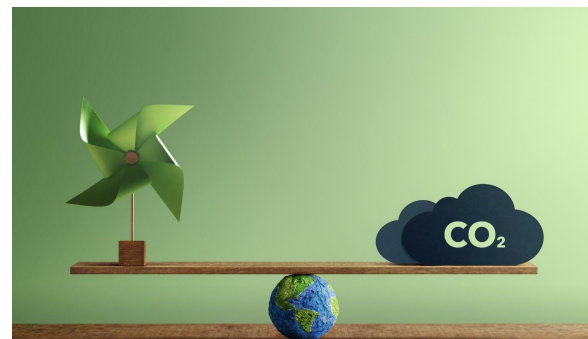
(注) 左のグラフは最終エネルギー消費量、右のグラフは発電電力量であり、送配電損失量と所内電力量を差し引いたものが電力需要。

10

(出典: 経産省資料)

「第7次エネルギー基本計画」の問題点

- 電力需要の増加をあまりにも多めに見積もっている
 - AIやデータセンターで電力需要が増えると政府は言っているが……
 - 同時にデジタル化による省エネ技術が進む
 - 急増したとしても電力需要全体から見ると10%程度で再エネや省エネで対応可能
- 原発「依存度の低減」→「最大限活用」
 - 核燃料サイクルや災害時の避難計画が不十分なまま再稼働？
 - 新增設やリプレイスのコストは莫大、気候変動対策として間に合わない
- 火力発電を3～4割維持
 - 水素やアンモニア混焼、CCSでゼロエミ火力？
 - 化石燃料からの脱却を先送りし、気候変動対策を遅らせる
- 再エネ目標が低すぎる(2030年からの変化も少ない)
 - 前回たてた2030年の再エネ電力比率=36-38%
 - 今回の案の2040年の再エネ電力比率=40-50%
 - 再エネにはもっとポテンシャルがある
 - 太陽光(屋根置き、ソーラーシェアリング、ペロブスカイト)
 - 洋上風力など



Q4: 日本政府は2050年のカーボンニュートラルを
目標にしています。

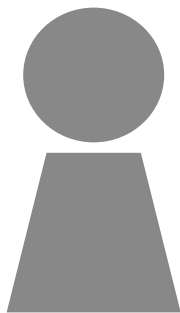
2030年の温室効果ガス削減目標(2013年比)は何%？

① 26%

② 46%

③ 66%

A4: ②46%

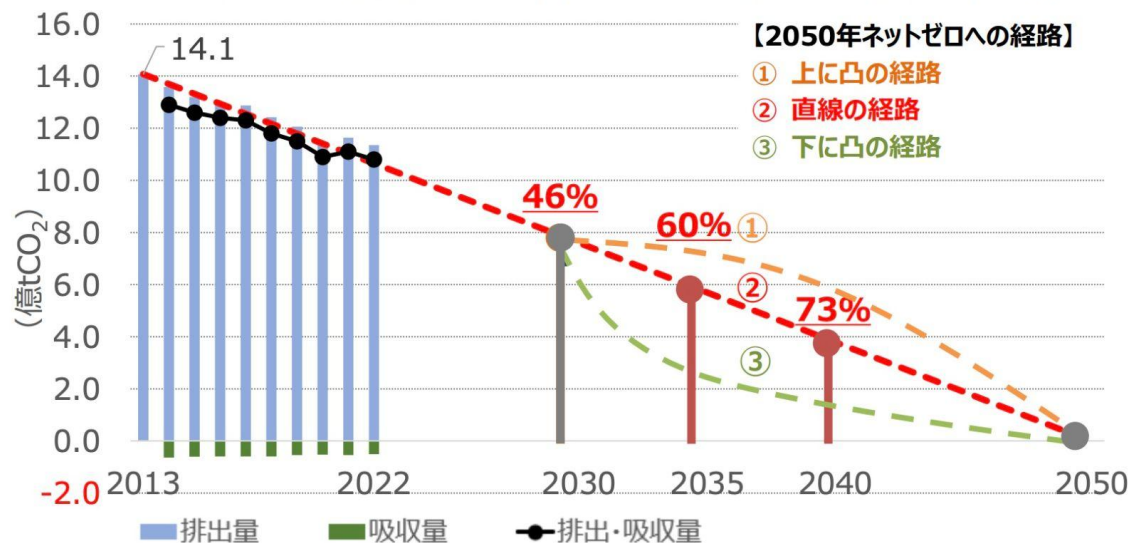


菅首相(2021年当時)

2050年目標と整合的で、野心的な目標として、
2030年度に、温室効果ガスを2013年度から
46%削減することを目指します。

さらに、**50%の高み**に向けて、
挑戦を続けてまいります。

Q5: 2030年46%削減→2050年カーボンニュートラルの経路として、政府が示しているものはどれ？



① 上に凸

② 直線

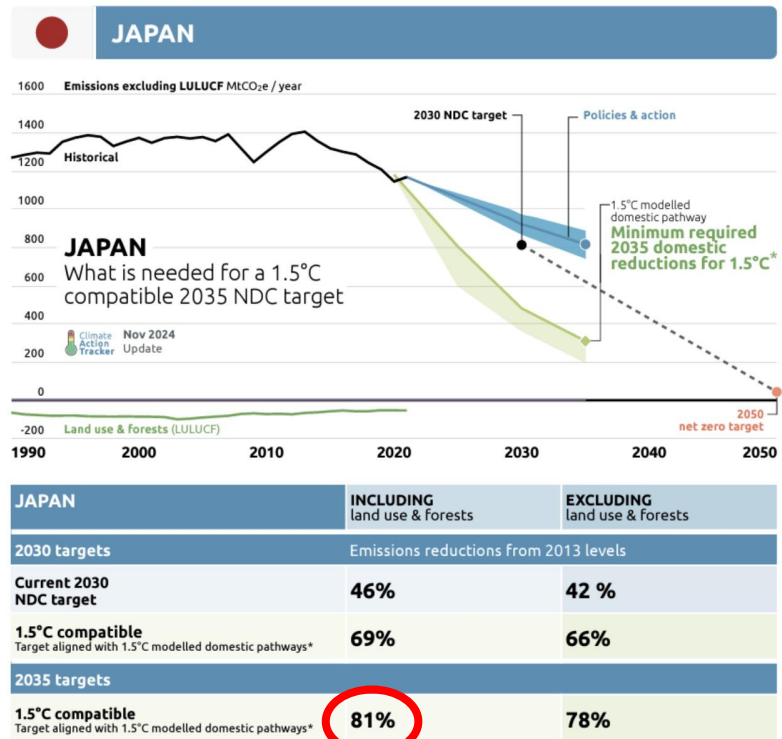
③ 下に凸

(出典: 経産省資料)

A5: ②直線

2035年の国別削減目標(=NDC)を
2月に国連へ提出する必要がある
→直線経路だと**60%削減**(2013年比)

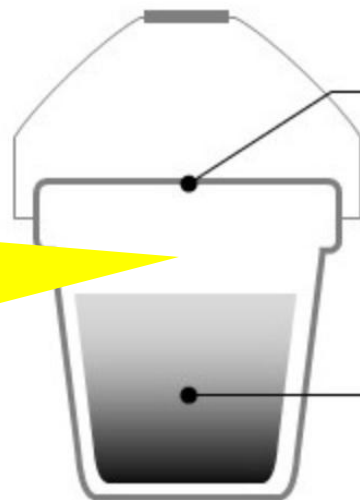
- 「1.5℃目標」に整合させるための
世界平均では**66%削減**
- Climate Action Tracker*によると
日本は**81%削減**が必要
(*政府の気候変動対策をトラックする独立系科学プロジェクト)



(出典: [1.5-aligned 2035 targets for major emitters and Troika countries](#))

炭素予算(=カーボンバジェット)って何？

バケツがあふれないよう
CO2を早急に、大幅に
削減することが重要



カーボンバジェット

温室効果ガスの累積排出量の上限

累積量

これまで排出された温室効果ガスの総量

(出典: [ゼロカーボン板](#))

直線経路ではカーボンバジェットを超えてしまう→**下に凸の経路**が必要

Q6:日本のCO2排出量(2021年)は世界で何番目？

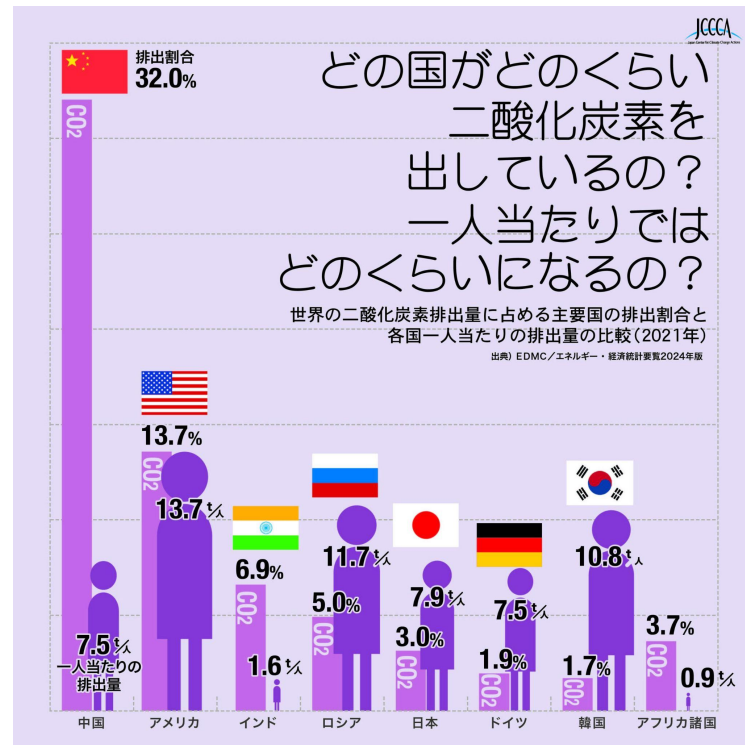
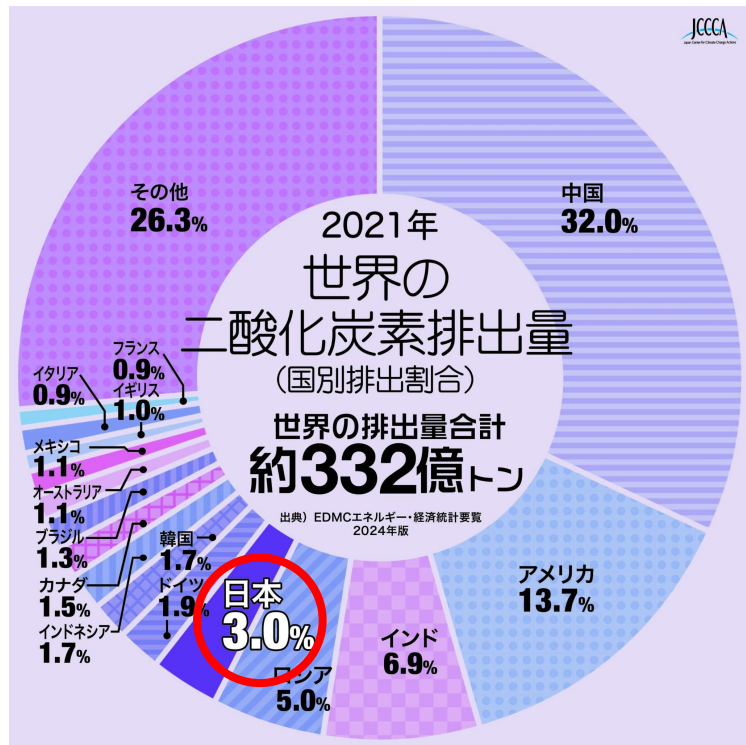


①第1位

②第5位

③第10位

A6: ②第5位



(出典: 地球温暖化防止活動センター)

気候正義(Climate Justice)って何？(※図は一例)

世界人口と温室効果ガス排出量



出典: Oxfam "Extreme Carbon Inequality" 2015

Q7:「第7次エネルギー基本計画」やNDCの 決定プロセスは次のうちどれ？

- ① 国会で議論されたのち、多数決で採択される
- ② 関係省庁の審議会で議論されたのち、閣議決定される
- ③ 各地での意見聴取会、討論型世論調査などの
国民的議論を踏まえて、関係省庁が取りまとめる

A7:② 関係省庁の審議会で議論されたのち、閣議決定される

審議会の委員構成

- 化石燃料を中心にした既存システムからの脱却に消極的な委員が多数派
- 年齢・世代にも偏りがある
- 若者団体や市民団体からのヒアリングはあるが、意見内容がどう反映されたのかは不透明

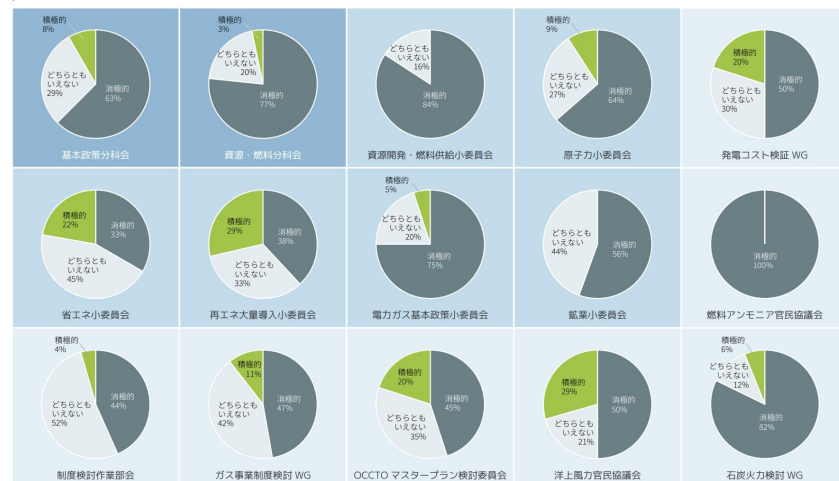
東日本大震災後の2012年には・・・

- 11箇所での意見公聴会実施などの国民的議論
- 原発低減の方針がまとめられた



第4次エネ基以降の議論では無視されている

図8 エネルギー基本計画の策定にかかる主要会議体の委員構成（第6次・第7次）（スタンス）



※化石燃料を中心にした既存システムからの脱却に対する姿勢を独自の判断基準に基づき評価した。また、グラフの背景色は、分科会、小委員会、WG等の分類ごとに区別している。

Climate Integrate 作成

（出典：『日本の政策決定プロセス エネルギー基本計画の事例の検証』Climate Integrate）

どんなパブコメがあるの？

もうひとつ、
GX2040ビジョン
案の
パブコメも。

経済産業省
が主体



エネルギー基本計画案の パブコメはこちら
2024年12月27日-2025年1月26日23時59分まで



温暖化対策計画案の パブコメはこちら
2024年12月27日-2025年1月27日0時0分まで

経済産業省
+ 環境省

NDCに
ついては
こちら

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620224019&Mode=0>

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=195240104&Mode=0>

どんなことを書いたら良いの？

ワタシのミライのHPに
5つのポイントと投稿例を
掲載しているので
ぜひ参考にしてください！

https://watashinomirai.org/energy_publiccomment/



＼ どう書けば良いかわからない方へ ／

5つのポイント&投稿例

「エネルギー基本計画案（エネ基）」と「温暖化対策計画案（温対計画）」
2つのバブコメがありますが、共通する内容も多いです！

こちらの5つのポイントと投稿例を参考にしてみてください。

①プロセス （エネ基・温対 計画）

【問題点】

「エネ基案」も「温対計画案」も、決定するプロセスに市民が参加する場がほとんどなく、原発推進や化石燃料維持を支持する委員が多数派の会議だけで決められています。

【投稿例】

審議会での議論や意思決定に、若い世代を含む多様な立場の専門家や環境団体、市民が参加できるようにしてください。民主的で透明なプロセスによる「国民的議論」を行なってください。

②気候危機 （エネ基・温対 計画）

【問題点】

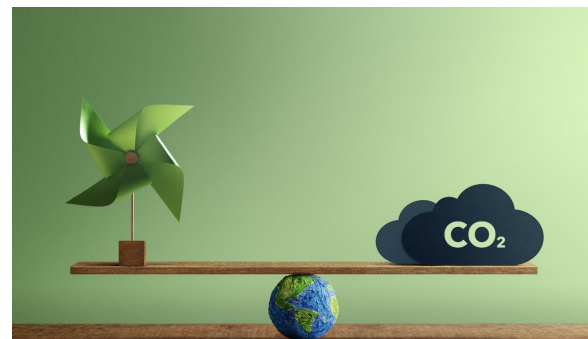
「エネ基案」「温対計画案」とともに「2035年までに温室効果ガス60%削減（2013年比）」という目標値が示されましたが、これは世界全体に必要な削減の平均値にも足らず、日本のこれまでの排出責任を考えるとあまりに低い数字です。

【投稿例】

Q&A

「第7次エネルギー基本計画」の問題点

- 電力需要の増加をあまりにも多めに見積もっている
 - AIやデータセンターで電力需要が増えると政府は言っているが……
 - 同時にデジタル化による省エネ技術が進む
 - 急増したとしても電力需要全体から見ると10%程度で再エネや省エネで対応可能
- 原発「依存度の低減」→「最大限活用」
 - 核燃料サイクルや災害時の避難計画が不十分なまま再稼働？
 - 新增設やリプレイスのコストは莫大、気候変動対策として間に合わない
- 火力発電を3～4割維持
 - 水素やアンモニア混焼、CCSでゼロエミ火力？
 - 化石燃料からの脱却を先送りし、気候変動対策を遅らせる
- 再エネ目標が低すぎる(2030年からの変化も少ない)
 - 前回たてた2030年の再エネ電力比率=36-38%
 - 今回の案の2040年の再エネ電力比率=40-50%
 - 再エネにはもっとポテンシャルがある
 - 太陽光(屋根置き、ソーラーシェアリング、ペロブスカイト)
 - 洋上風力など



～今、書いて送ってみよう～

まっさきに送れる3通（一部解説は後半で）

1

あなたの思い
不安な気持ち

+

感想で
終わらず
意見の形に

だから、暮らしや
未来をしっかり
守れる目標や政策
をお願いします

2

実際にある影響、
見聞きしたエピ
ソード、体験
+

だから、暮らしや未
来をしっかり
守れる目標や政策
をお願いします

3

後で解説
します

2035年の
温室効果ガス削減
目標案「60%」
では足りません。

「1.5度の約束」を
守るためには、
最低でも66%以上
が必要です。

パブコメを送るステップ

1. 右のQRを読み込む
PCの方は「地球温暖化対策 パブリックコメント」などと検索
2. PDFなどの資料は全てクリックして開封
3. チェックを入れて、進んで、意見を入力
4. 意見のみでもOK！できる範囲で住んでる地域
(例:東京都港区)など情報を入れておこう。
団体・グループとして送る方はその名称等も
※「人」がちゃんと背後にいることが伝わりやすい
5. 「控え」は念の為ダウンロードしておこう



案内など

経産省主催、1月29日～全国で意見交換会が開催

エネ基・GXビジョン2040案についての、意見交換会が開催されることに。
お近くの方はぜひ現地で・オンラインもあります。

地方支分部局	日程	申込先
北海道経済産業局	調整中	
東北経済産業局	調整中	
関東経済産業局	2月5日(水)	関東経済産業局 申込についてはこちら
中部経済産業局	2月6日(木)	中部経済産業局 申込についてはこちら
中部経済産業局(北陸支局)	2月7日(金)	中部経済産業局(北陸支局) 申込についてはこちら
近畿経済産業局	1月29日(水)	近畿経済産業局 申込についてはこちら
中国経済産業局	2月5日(水)	中国経済産業局 申込についてはこちら
四国経済産業局	2月7日(金)	四国経済産業局 申込についてはこちら
九州経済産業局	2月10日(月)	九州経済産業局 申込についてはこちら
内閣府沖縄総合事務局経済産業部	2月3日(月)	内閣府沖縄総合事務局経済産業部 申込についてはこちら

1.25(土) 15:00-渋谷でアクション

END CLIMATE CRISIS

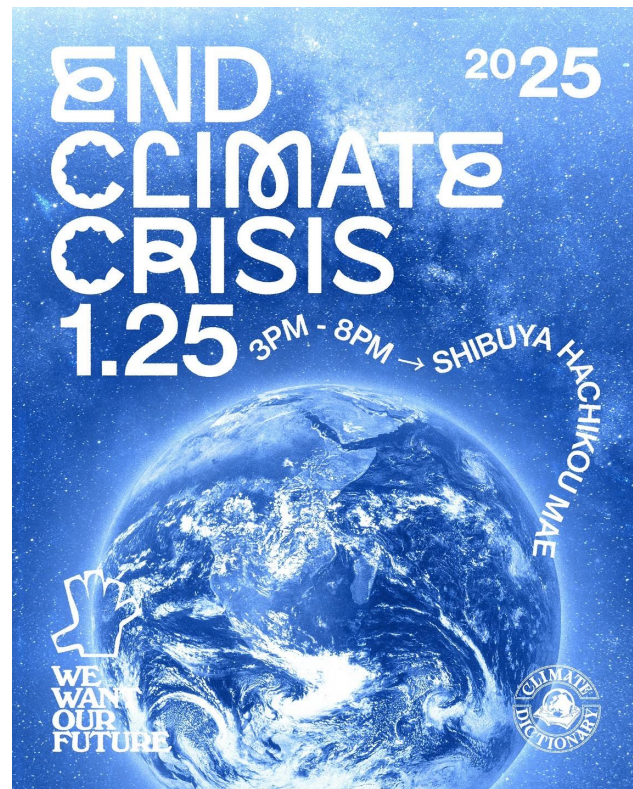
～日本政府にまともな気候変動政策を求めます～

【日時】 2025年1月25日(土)15:00～20:00

【場所】 渋谷ハチ公前

【主催】 END CLIMATE CRISIS実行委員会(気候辞書
/CLIMATE DICTIONARY、
Protest Rave、WE WANT OUR FUTURE)

【内容】 市民からのスピーチなど



他にできること！：地元の国会議員に声を届けてみる

「エネルギー基本計画」も「温暖化対策計画」もわたしたちのくらしに直結する問題なのに国会での議論を経ずに「閣議決定」のみで進められます。

ワタシのミライのHPでは
地元の国会議員へのアプローチ方法も
掲載しています！

気候変動のことだけでなく、
地域・地元の他の課題も相談できるよ
うな関係になれると◎

<https://watashinomirai.org/energy publiccomment/>

意見の伝え方

① 自分の選挙区の国会議員を探す

<探し方>

インターネットで「自分の市区町村名」と「衆議院議員」として検索してみてください。
衆議院議員の名前がでてきます。

(必ずしも自分の選挙区の国会議員でなくてもOKです)

② 国会議員の連絡先を調べる

<調べ方>

議員のウェブサイトへ行き、電話番号やメールアドレス、SNS (FacebookやInstagramなど)、フォームがあるか確認する。

③ 連絡をして「エネルギー基本計画について、NDCについて、国会でちゃんと議論をしてください」と伝える

<電話での伝え方例>

(メールやフォームでも同様に伝えてみてください)

〇〇に住んでいる(選挙区を伝えるために大事)〇〇です。

〇〇議員に伝えていただきたいことがあり、お電話しています。

お話ししてほしいでしょうか。

いま、国がエネルギー基本計画をつくったり、温室効果ガス削減の国別目標(NDC)を含む温暖化対策計画について決めようとしていると思います。

エネルギーのあり方、温室効果ガスをどれだけ減らすかなどはわたしたちの暮らしに直結する問題です。

決めてしまう前に、国会でちゃんと議論をしてください。

〇〇議員にお伝えいただけますようお願いいたします。

ご参加ありがとうございました！